

表彰の根拠	規則	規則第3条第8号による表彰	表彰の実施	予定日	令和8年3月19日
	要綱等の名称	姫路市芸術文化賞表彰要綱		行事等の名称	2026 文化交流フェスティバル
賞の種類		姫路市芸術文化大賞			

ふりがな 氏名	いのうえ ひとし 井上 仁 (洋画)	性別	男性
		生年月日	昭和12年8月15日
		年齢	88歳
住所	〒679-4014 たつの市揖西町竹万		
職業	洋画家	会社等名称	
		所在地	
功績概要	<p>昭和31年 京都学芸大学（現・京都教育大学）特修美術科西洋画入学 昭和33・34年 第44・45回光風会展入選、京都新聞社長賞 昭和35年 第15回行動美術展入選（以後連続入選） 昭和36年 京都学芸大学美術専攻科卒業 昭和39年 「行動美術展」奨励賞受賞（以降、行動美術賞、会友賞、T賞を受賞） 昭和48年 「第28回行動展」にて会員推挙（以後、審査員を務める） 昭和49年 文化庁主催「第7回現代美術選抜展」出品 平成6年 姫路市芸術文化賞「芸術賞」受賞 平成22年 姫路文化賞（姫路文連）受賞 平成27年 たつの市文化協会賞 受賞 令和5年 「井上仁作品展」（ルネッサンススクエア）開催</p> <p>京都学芸大学在籍時より、光風会展に入選し京都新聞社長賞を受賞するなど、早くからその才能を評価されるとともに、第15回行動美術展への入選を契機として、以降、全国規模の美術団体展において継続的に作品発表と入賞を重ねてきた。</p> <p>その後、「行動美術展」において会員に推挙され、さらに審査員を務めるなど、長年にわたり同団体の運営と発展に寄与してきたほか、文化庁主催「現代美術選抜展」への出品など、全国規模の美術展においても継続的に活動を行っている。</p> <p>作品制作においては、一貫して「土」を主題とし、絵具に素材を混合した重厚な画肌表現を基盤に、皺や凹凸を生かした抽象的造形表現へと展開し、さらに「土の華」シリーズに代表される独自の表現を継続的に深化させてきた。その作品群は、自然素材の質感を生かした画面構成と、簡潔で抑制の効いた造形性を特徴とし、長年にわたる制作の蓄積に裏打ちされた安定した作風として評価されている。</p> <p>また、姫路市立美術館公募展をはじめ、各地の市展・町展において運営委員・審査員を歴任し、後進の育成と地域美術の振興に尽力するなど、創作活動のみならず、地域文化の基盤形成にも継続的に貢献してきた。その功績は多大である。</p>		